



社会新報 (岡山県連合版)

2014年3月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3-7F
TEL.03-3592-7515 1部180円/月700円/年160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

「一年の計は、2・11にあり！」

本日は早起きして組合(自治労全国一般岡山)の仲間、社民党の同志とともに「2・11反核・軍縮・日本原基地撤去を求める岡山県民集会」に参加するため県北・奈義町を目指した。現地は寒さに加え吹雪という「プチ八甲田山状態」でしたが県下から多くの労組、地元農業者や福島からの避難者を含む多くの市民、政党など約200名が結集し「日本原基地撤去！」の声を上げた。日本原基地撤去共闘会議の福島議長は「安倍政権は特定秘密保護法を強行成立させ、軍事予算を増額し着々と戦争への準備を進めている」と糾弾。現地農業者からの「基地撤去の闘いの歴史」の報告。恒例の大声大会に参加し「特定秘密保護法廃止するぞー！」の大声を奈義山ろくに響かせた。最後は、「特定秘密保護法の撤回を求め集団的自衛権の行使容認に反対する特別決議」に続き、「人が、人として人らしく生きてゆける社会の礎として、平和で共存できる社会を目指し、日本原から全世界に向けて、戦争反対を訴える！」アピールを採択した安倍内閣による「平和の破壊」は加速しているを引き締めエンジン全開で立ち向かい必ずや打ち勝とう！ そんな気持ちを新たにしたい一日でした

【会場ある記】党のピラを配る学生を見て「社民党にも若いのがいるんだな」との声…? & \$! % 【写真した: 雷が響く会場】



2014年予算編成で伊原木知事に要望

民主党岡山県連合は2月13日2014年度の岡山県予算編成に伴う要望について伊原木知事と21項目に及ぶ事項の要望を行った。



「要望書」を伊原木知事(右)に手渡す福島代表(左): 県庁

社会民主党第14回定期全国大会



党首 吉田ただとも、副党首 福島みずほ、幹事長 又市征治、副幹事長・政審会長 吉川元国、対委員長 照屋寛徳 など選出

合顧問始め、福島代表、植田自治体議員団長、武本幹事長、池田常任幹事の5名が出席。「要望事項」はすでに事前に知事に出されているが、武本幹事長の説明の後、伊原木知事はこのなかで、県の重点政策の説明とともに、「みなさんの主旨は十分理解できるとし、一致点もあります」など

と話し、「各事項について善処していきたい」と答えた。福島代表から「前向きなお話しをいただきありがとうございます。ぜひ実現の方向でご検討願いたい」。また県民のみなさんが「住んでいてよかった岡山」がさらに実のあるものになるよう社民党も全力で活動していくことを伝えた。(武本)

社民党全国連合定期大会

(2月22・23日東京)

社民党全国連合は、吉田新党首の下で初めての大会を開催した。県連合からは、武本代表、福島県代表、池田女性代表の3名が参加。吉田党首は「平和・自由・平等・共生を掲げた社民党の存在意義が、今こそ問われている。『対話続行・改革断行』をスローガンに、全国対話キヤラバンで、党役員や党員との情報を共有し、改革に活かしていく。第二は、社民党改

党連合の2月常任幹事会では2月15日、党連合定期大会にむけて、意義と課題や情勢について議論。「ブラック企業は自分の子の会社にも言えない。けしからんだだけではかわらない。具体的に党員を元気づける方針を」「若い人の参加など変化もある」など身近な話が具体的に述べられた。25日の1・2区支部党員会議でも、来春の統一自治体選挙体制、岡山市議選の具体的な方針・取り組みが集中議論された(詳細は別途報告)。

県連合常任幹事会でも熱議

1・2区支部党員会議でも

全国の活動

- 3月1日脱原発ピラ配布 駅前・天満屋10時30分 一千万人署名実行委員会
- 3月8日上関脱原発集会 山口(7時県連合集合)
- 3月9日(日)3・11への祈り・おかやま(西川緑道公園、下石井公園)
- 3月22日(土) 党連合定期大会(13時・勤労者福祉センター・春日町)
- 3月26日(水) 17時半 党街宣統一行動(特定秘密保護法廃止) 岡山駅前

「新報」読者会
3月11日(第2火) 18時
3月18日(火) 18時
※第3金休日のため
※いずれも党連合会議室

春がすぐそこに、一足早くロシア・ソチからの春が届く。メデアはソチ五輪一色。表彰台に立つ人、金、銀、銅、確実と言われながらメダルに届かなかった人、それぞれに思いが伝わってくるようだ。それに水をさしたのが「大事なとき必ず転ぶ」と妄言を吐く東京五輪のトップの「メダル」が全てのような発言だ。それでも、「期待叶わず」帰国した若い選手が100名以上に出迎えられる感激したという報道にはホツとする。ソチからの熱狂報道の外で、「平和の祭典」を脅かすような国内の動きを取り上げるメディアはどうか。NHK新会長のメディアの使命を放棄し政権におもねる発言や経営委員の「人間のくす」発言(裏面「新報」)。集団的自衛権の行使は違憲とした憲法解釈の決定は最高責任者である総理の私だ、と言って自ら立憲主義を否定した独裁発言にも鈍感だ。そのことが福島を忘れた原発再稼働、労働破壊・福祉切捨てとなる。まもなく3年目の3・11が来る。今一度、脱原発、平和憲法の原点を思い起こそう。(の)